



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

第4回通常総会議事録

- 第一号議案 議長の選任
- 第二号議案 放送批評懇談会 2007 年度事業報告
- 第三号議案 放送批評懇談会 2007 年度収支決算
- 第四号議案 放送批評懇談会第4期5期役員
- 第五号議案 放送批評懇談会 2008 年度事業計画
- 第六号議案 放送批評懇談会 2008 年度収支予算

放送批評懇談会

2008年6月21日



放送批評懇談会

第4回通常総会 2008

特定非営利活動法人放送批評懇談会

<第4回通常総会>

- 開催日 2008年6月21日
- 会場 東京厚生年金会館 雅I
- 会勢
- <正会員>
189名 (入会18名、退会6名)
- <維持会員>
132社 (入会6社)
- 出席者 30名
- 麻生千晶 市村 元 石井清司 石橋さやか
岩田糸子 小田桐誠 音 好宏 隈部紀生
小林 毅 坂本 衛 志賀信夫 嶋田親一
鈴木典之 鈴木嘉一 滝野俊一 田代勝彦
只野 哲 田中典子 永田俊和 中島好登
中村登紀夫 丹羽美之 信井文夫 橋本 隆
星島節子 藤田真文 藤久ミネ 堀木卓也
松尾羊一 山田健太
- 委任状提出者 83名
- 出席予定者と委任状提出者で計113名



放送批評懇談会

第4回通常総会 2008

第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから「只野哲氏」を合議により選任。

第二号議案

放送批評懇談会

2007年度事業報告



2007年度総務事業報告

1. グランドデザイン（全体構想）小委員会について
音副理事長をリーダーとした検討会を、2007年8月から7回開催し、12月の理事会に細則改定案を含めて中間答申を提出しました。
その後、2008年5月に正会員全員へのアンケートを実施、現在集計中です。
新役員体制発足後、アンケート結果をふまえた具体的な最終案をまとめ提案します。
*リーダー・音 好宏 メンバー・小田桐誠 石井 彰
市村 元 入江たのし 岩本太郎 坂本 衛 丹羽美之
深川 章
2. 放懇創立45周年企画について
長年放送界に貢献した人を顕彰したい、という主旨で永六輔さんに「ギャラクシー賞45周年記念賞」を贈呈しました。また、贈賞式の来場者へは受賞作品の詳細が掲載されている「GALAC」7月号を45周年のお礼としてお渡ししました。
3. ギャラクシー賞マイベストTV賞について
創設2年目を迎え、新規事業として軌道に乗ってきました。
（具体的にはプロジェクトリーダーより報告します）
4. 第7回「日韓中テレビ制作者フォーラム IN 中国・天津大会」について
2007年9月12日～15日に天津で開催された大会に協賛し取材と研修のために2名を派遣しました。
*出張者・岩本太郎 福島美子（事務局）
*自費参加・志賀信夫 中町綾子



5. 収支決算について

事業各部門（選奨、企画、出版）が予算を達成し、また支出を引締めた効果もあり、全体で繰越金を計上することが出来ました。



2007年度出版編集事業報告

1. 下記のメンバーで運営しました。

委員長 小田桐 誠

副委員長 岩本太郎

委員 石橋さや夏 岩根彰子 小林潤一郎 小林 毅
狩野慶二郎 砂川浩慶 田北康成 南條廣介
松本恭幸 山田健太

2. 原則として毎月6日に「GALAC」を発行しました。

①「GALAC」ならではの特集テーマに臨機応変に取り組みました。

反響が大きかったのは、次の特集号でした。

2007年11月号 ストップ!オヤジ体質

2007年12月号 芸人ブームのポストモダン

2008年2月号 戦場ジャーナリストが消える!

2008年3月号 ぎゃらく式NHK経営委員会構造改革案
テレビの”鉄分”上昇中

2008年5月号 番組審議会は機能不全!?

2008年6月号 この賞を知っていますか

②連載の見直しを進めるとともに、新しい執筆者の起用に努めました。

③発行部数は約4000部を目安としました。ただ、男性タレント・役者が表紙の号や特集によっては増刷し、大幅な販売収入増となりました。

④ネット書店「富士山マガジンサービス」との提携により、ネット上での販売拡大に努めました。

⑤全体的に編集費、原稿料の抑制に努めました。収入面では、広告収入が苦戦しました。



2007年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 藤久ミネ

<テレビ部門委員会>

委員長 音 好宏

副委員長 石井 彰

委員 井上幸一 河野尚行 古賀靖典 佐藤由子
鈴木典之 中町綾子 中村正敏 桧山珠美
藤久ミネ 柳川素子

<ラジオ部門委員会>

委員長 橋本 隆

副委員長 斎藤弘美

委員 遠藤ふき子 鎌内啓子 茅原良平 桜井聖子
田中千恵 仲宇佐ゆり 藤田恒美 堀 義貴
三國 游 三原 治 山本 索

<CM部門委員会>

委員長 兼高聖雄

副委員長 五井千鶴子

委員 石橋さや夏 岩本太郎 木村政司 高橋俊明
谷岡理香 永田彰久 本庄雅之 三日月まりこ

<報道活動部門委員会>

委員長 坂本 衛

副委員長 堀木卓也

委員 麻生千晶 碓井広義 上滝徹也 小林英美
田原茂行 露木 茂 山田健太 山室英男

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第45回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。



<テレビ部門委員会>

- ・2007年4月から2008年3月まで、毎月選考会を開き月間賞4本を選びました。
選考結果を「GALAC」誌上に番組一覧表および合評形式で発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。
- ・2007年9月12日から27日まで、10月15、16日に、第45回上期自薦作品86本を視聴。10月28日、月間賞(23本)と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。
- ・2008年3月13日から27日まで、4月9、10、11日に第45回下期自薦作品106本を視聴。4月19日、月間賞(22本)と自薦作品の中から、下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞も選びました。

<ラジオ部門委員会>

- ・2007年4月から2008年3月まで、毎月ラジオ委員会を開催してラジオについての合評を行いました。
- ・2007年10月、第45回上期自薦作品を聴取し、10月23、25日に各部門の上期候補作品を選出。
- ・2008年4月、下期自薦作品を聴取し、4月17、18日に各部門の下期候補作品を選出。
- ・4月24日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。
- ・6月30日、9月8日に受賞作品を聴く会を開催しました。

<CM部門委員会>

- ・3か月ごとにCMの視聴合評会を開催しました。
- ・2007年10月26日、上期自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。
- ・2008年4月22日、下期自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。上期下期合わせた中から13本の入賞作品を選出。



<報道活動部門委員会>

- ・2007年10月20日、上期自薦作を視聴・聴取し、4本の候補作を選出。
- ・2008年4月12日、下期自薦作を視聴・聴取し、4本の候補作を選出。上期下期合わせた中から6本の入賞作を選出。
- ・「GALAC」連載ページを委員が分担し、地方における報道活動の紹介、各局報道活動への期待などについて執筆。
- ・応募をしやすいするため、下期の選考対象を上下期を通じての放送に拡大したほか、応募期間を若干延長。参加申込用紙も改定。

3. 2008年6月3日(火曜日)、ウェスティンホテル東京ギャラクシールームにて「創立45周年ギャラクシー賞贈賞式・宴」を開催しました。

なお、実行プロジェクトメンバーは次のとおりです。(石橋さや夏、入江たのし、岩本太郎、小林英美、斎藤弘美、嶋田親一、高橋克佳、仲宇佐ゆり、永田俊和、桧山珠美、布施公章、堀木卓也、三原 治、山田健太/中島好登)。

出席者の内訳は、有料約250名、招待約350名、合計約600名でした。



2007年度企画開催事業報告

1. 2007年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。

委員長 隈部紀生

副委員長 滝野俊一

委員 入江たのし 大山輝夫 小針俊郎 佐藤 勉
清水孝雄 隅井孝雄 千田利史 只野 哲
原由美子

2. 2008年2月20日、放送批評懇談会シンポジウム2008「デジタル化の成熟と放送、インターネット」を、ホテルルポール麹町で開催しました。

今回は、テレビの完全デジタル移行が近づく一方で、ブロードバンドが普及し、新しいデジタルサービスが次々に登場してメディア全体を揺さぶっている状況をとらえ、法制、広告、有料放送の面からの講演と3つの新しいデジタルサービスの将来展望について解説をお願いしました。また2006年に続いて、午後だけのセッションにして参加料は同額を維持しました。参加者は270人と前年よりさらに増えて、補助席を設けたほか、一部お断りするという盛況になり、予算上の目標も達成できました。会場で今後のシンポジウムの企画のためにアンケート調査をし、100人(37%)から回答を得ました。

3. 2005年から開始した放懇セミナーシリーズ「デジタル時代の視聴者像」の第3回として、「ケイタイ、ネットサービスと放送」を2007年10月24日にアルカディア市谷・私学会館で開催しました。参加者は79人で前年より若干増え、活発な質疑が展開されました。参加料を若干値上げしたこともあって、このセミナーでは初めて赤字を出さずに済みました。



放送批評懇談会

第4回通常総会 2008

2007年度マイベストTV賞

プロジェクト事業報告

1. 以下のメンバーで運営しました。

プロジェクトリーダー 滝野俊一

メンバー 仮屋和則 桧山珠美

アドバイザー 藤久ミネ

事務局 久野明

2. 2006年3月より募集をしたWeb会員の登録者は968名（2008年6月13日現在）に達しました。今年度は若年層の会員増を目指し、携帯電話から登録、投票ができるようにしました。
3. 第2回「マイベストTV賞グランプリ」が決定しました。Web会員948名に放送批評懇談会の正会員189名が加わり、グランプリの投票にあたりました。グランプリ作品は、投票によって決められたノミネート作（毎月上位3作品、同数の場合は繰り上げ）37本の中から、最高3本までを投票するという方法で決められ、239票を獲得した金曜ドラマ「歌姫」（TBS）が栄誉に輝きました。また、投票されたWeb会員の中から1組2名を、プレゼンターとしてギャラクシー賞贈賞式に招待しました。贈賞式ではプロデューサー、脚本家、出演者（相武紗季）が登場し、トロフィー、賞状を受け取りました。

第三号議案

放送批評懇談会

2007年度収支決算

収支計算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日まで(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,450,000	2,450,400	△ 400
維持会費収入	40,900,000	41,784,000	△ 884,000
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	25,000,000	24,430,400	569,600
企画開催事業収入	3,700,000	4,858,210	△ 1,158,210
40周年記念収入		23,100	△ 23,100
3. その他の収入			
出版編集事業収入	3,850,000	7,251,581	△ 3,401,581
広告料収入	7,600,000	7,285,052	314,948
4. 雑収入			
受取利息	0	66,164	△ 66,164
雑収入	0	0	0
当期収入合計	83,500,000	88,148,907	△ 4,648,907
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	7,000,000	6,965,931	34,069
式典費	9,800,000	9,731,213	68,787
企画開催費	2,000,000	2,123,106	△ 123,106
原稿料	7,100,000	6,288,029	811,971
編集費	4,100,000	5,342,782	△ 1,242,782
雑誌印刷費	17,000,000	17,481,450	△ 481,450
発送費	1,400,000	1,533,136	△ 133,136
2. 管理費			
給料手当	17,100,000	17,092,494	7,506
人件費	2,600,000	2,589,430	10,570
法定福利費	2,300,000	2,529,345	△ 229,345
福利厚生費	200,000	289,849	△ 89,849
旅費交通費	550,000	482,880	67,120
通信費	1,100,000	1,310,538	△ 210,538
資料費	1,150,000	1,123,112	26,888
会議費	250,000	298,289	△ 48,289
水道光熱費	270,000	273,382	△ 3,382
事務用品費	150,000	139,426	10,574
消耗品費	600,000	504,487	95,513
備品費	380,000	545,638	△ 165,638
諸印刷費	700,000	577,400	122,600
広報費	750,000	531,880	218,120
支払手数料	150,000	122,486	27,514
賃借料	4,000,000	3,958,499	41,501
保険料	780,000	793,090	△ 13,090
交際費	150,000	169,740	△ 19,740
雑費	750,000	743,926	6,074
諸会費	120,000	115,644	4,356
租税公課	150,000	146,200	3,800
退職給付引当金繰入	815,068	815,068	0
予備費	84,932	0	84,932
当期支出合計	83,500,000	84,618,450	△ 1,118,450
当期収支差額	0	3,530,457	△ 3,530,457

貸借対照表

平成20年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,600,581		
未収入金	4,222,000		
所有物	286,625		
流動資産合計		44,109,206	
2. 固定資産			
賃借権利金等	150,455		
差入保証金	4,099,500		
固定資産合計		4,249,955	
資産合計			48,359,161
II. 負債の部			
未払金	5,901,863		
前受金	1,380,000		
預り金	404,824		
退職給付引当金	16,104,068		
負債合計			23,790,755
III. 正味財産の部			
正味財産			24,568,406
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			3,530,457
負債及び正味財産合計			48,359,161

正味財産増減計算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	4,169,139		
未収入金増加額	294,500		
賃借権利金等減少額	119,557		
2. 負債減少額			
前受金減少額	90,000		
預り金減少額	89,149		
増加額合計		4,762,345	
II. 減少の部			
1. 資産減少額		0	
2. 負債増加額			
未払金増加額	416,820		
退職給付引当金増加額	815,068		
減少額合計		1,231,888	
当期正味財産増加額			3,530,457
前期繰越正味財産額			21,037,949
期末正味財産額			24,568,406

第四号議案

放送批評懇談会

第4期、第5期役員



放送批評懇談会

第4回通常総会 2008

放送批評懇談会 第4期5期役員

- 名誉会長 志賀信夫
- 理事長 音 好宏 (グラウンド・デザイン担当)
- 専務理事 隈部紀生 (総務担当)
- 常務理事 上滝徹也
- 小田桐 誠 (選奨事業委員長)
- 藤田真文 (企画事業委員長)
- 理事 石井 彰
- 市村 元
- 入江たのし
- 岩本太郎
- 兼高聖雄 (選奨事業委員会CM部門委員長)
- 五井千鶴子
- 小林 毅
- 坂本 衛 (選奨事業委員会報道活動部門委員長)
- 嶋田親一
- 滝野俊一 (マイベストTV賞プロジェクトリーダー)
- 丹羽美之 (出版編集委員長)
- 橋本 隆 (選奨事業委員会ラジオ部門委員長)
- 藤久ミネ (選奨事業委員会テレビ部門委員長)
- 堀木卓也
- 松尾羊一
- 山田健太
- 監事 田代勝彦
- 原 由美子
- 名誉会員 岩田糸子
- 清水英夫

第五号議案

放送批評懇談会

2008度事業計画



2008年度総務事業計画

1. グランド・デザイン（全体構想）の取りまとめと実行
2007年度に行った検討とアンケート調査をまとめて近く理事会に報告し、承認を得た上で、早期に実行可能なものは実行し、長期的な課題については、引き続き具体的対応策を検討していきます。
*リーダー・音好宏、メンバー・隈部紀生、小田桐誠
石井 彰 市村 元 入江たのし 岩本太郎 坂本 衛
深川 章 丹羽美之、事務局・中島好登
2. 「ギャラクシー賞マイベストTV賞」の推進
第3回を迎え、視聴者や放送事業者の間でも事業としてよく知られて定着してきましたので、さらに推進します。
*プロジェクトリーダー・滝野俊一、メンバー・仮屋和則
桧山珠美、アドバイザー・藤久ミネ、事務局・久野明
（具体的にはプロジェクトリーダーより報告します。）
3. 第8回「日韓中テレビ制作者フォーラム福岡大会」に協賛、参加
第8回大会は2008年9月24日～27日に福岡市のアクロス福岡で、「アジアの共生～地球・地域・環境」をテーマに開催されます。
この大会に協賛し、取材と研修のため2名を派遣するとともに、自費参加者も加えて大会の成功に寄与します。
4. 収支予算案について
収入の部では広告収入の確保が厳しい情勢の中、維持会費の増加に努めますが、選奨事業収入、企画事業収入も現状を上回るのは困難と予想されます。
このため支出の部では、将来の新規事業の開始については、採算性を十分検討し、継続事業についても経費の削減に努めて健全な財務状況を維持します。



2008年度出版編集事業計画

1. 下記のメンバーで運営します。

委員長	丹羽美之
副委員長	飯田みか
委員	安齋茂樹 滝野俊一 辻 春輝
	中村美子 桧山珠美 水島宏明
	山田健太 ほか若干名交渉中
編集スタッフ	久野 明 中島好登 福島美子

2. 毎月6日に「GALAC」を発行します。本年度の運営方針は以下の通りです。

- 1) 批評を通じて豊かな放送文化の実現に貢献する雑誌を目指します。
- 2) 特集のテーマや視点を工夫し、タイムリーな話題から中長期的な話題まで、ローカルな話題からグローバルな話題まで、現在の放送を取り巻く様々な課題に幅広く対応するように努めます。
- 3) 新たな書き手を発掘し、誌面の活性化を図ります。
- 4) 選奨事業委員会や企画事業委員会と連携しながら、イベントや出版と連動した紙面展開を考えます。
- 5) 原稿料、取材費、制作費、印刷費など適正なコストを実現していますが、引き続きこれに努力します。
- 6) 発行部数は引き続き約4000部を見込んでいます。
- 7) 事務局と連携して、新たな出稿先や販売網の拡充に努めます。



2007年度選奨表彰事業計画

1. 2008年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 小田桐 誠

<テレビ部門委員会>

委員長 藤久ミネ

副委員長 石井 彰

委員 石橋さや夏 井上幸一 岩根彰子 河野尚行
古賀靖典 佐藤由子 隅井孝雄 中村正敏
藤田真文 柳川素子 ほか若干名交渉中

<ラジオ部門委員会>

委員長 橋本 隆

副委員長 桜井聖子

委員 木原 毅 黄 莉香 さらだたまこ 高瀬 毅
田代勝彦 田中千恵 仲宇佐ゆり 三國 游
森忠 荘 山本 索

<CM部門委員会>

委員長 兼高聖雄

副委員長 諸橋泰樹

委員 入江たのし 岩本太郎 鈴木ゆかり
田中典子 丸茂 巧 三日月まりこ
山川浩二 ほか若干名交渉中

<報道活動部門委員会>

委員長 坂本 衛

副委員長 碓井広義

委員 麻生千晶 今村庸一 小田桐誠 上滝徹也
小林英美 鈴木典之 田原茂行 露木 茂
山田健太 山室英男

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第46回ギャラクシー賞（2008年度）の審査、ならびに贈賞式を行います。



3. 2008年度の運営方針は以下のとおりです。

ギャラクシー賞の選考に関し、さらに説明責任と透明性を高めるための工夫を、各委員会とともに検討していきたい。

1) テレビ部門委員会の運営

毎月開催の月評会では、日常の視聴活動を通じてすべてのジャンルの番組批評を心がけます。また番組傾向の変化や、編成および視聴動向の分析なども行い、時代状況や社会と放送メディアとの新たな相関関係を考察したい。これまでどおり制作者に活力を与え、今後の番組づくりへの提言となるような批評を目指しますが、同時に、放送批評そのもののあるべき方向性を、具体的な形で探求していきたいと考えます。

2) ラジオ部門委員会の運営

新委員が加入したので、会の趣旨を早く理解してもらい、伝統を守りながら、新しい批評活動を深めていく。ラジオ業界の経営悪化のため、番組制作環境が厳しくなり、時に質の低下を招いている状況で、単に辛辣な批評をするばかりでなく、提案型の批評を心がける。また、情報収集力を強化し、全国の知られざる良き番組を紹介する要素も高めたい。

3) CM部門委員会の運営

CM部門委員会では、基本的な評価軸である「サムシングニュー」からぶれることなく、かつデジタル時代のテレビCMの存在意義をも考えるべく本年度の活動を展開したい。昨年につづき、CMにとってテレビとは何か、テレビ放送によるCMの意義は何か、を指し示すような選奨活動を心がけていきたい。とくに月評の場での討議や選奨ではテレビの媒体価値や、今後のテレビのあり方を含めた討議を意識して行いたい。



また43回より導入したシリーズ応募が定着してきたことをふまえ、よりCM制作の実情に合った形での運用をさらに考えていきたい。また現行では広告会社・制作会社・放送社・広告主からの応募を想定し、評価しているが、さらにはアカウントプランニングの側面からの評価や、また逆にトータルプロデュースの側面からの評価選奨も考えてみたい。

先年度で委員の大半が任期切れとなり、全く新たなメンバーでのぞむことになるが、制作現場からマーケティング、視聴者の立場にいたる様々なスタンスでの評価を目指したい。

さらに現在まで研究中である「ラジオCM」の選奨が可能かどうかを考えてみたい。できれば、そのためのプロジェクトチームを作りたいと考えている。

4) 報道活動部門委員会の運営

(1) 一定期間の放送を通じて、キャンペーン報道、複数局が参画し協同する報道、系列による総力報道など、特定の番組枠を越えて継続的に取り組んだ報道活動、(2) 単体の番組としては完結していなくても、社会性・時代性のある画期的なスクープ報道、長期にわたる優れた調査報道、フリーランスによる特定のテーマ報道、番組コーナーを活用した報道活動など、番組単位でくくることのできないテレビ・ラジオのあらゆる報道活動に広く目配りし、これを応援する選奨活動をおこないます。

とくに、地域の放送ジャーナリズム活動、既存メディアがあまり取り上げない問題に光を当てる報道、さまざまな制約と格闘しながら信じる主張を貫く報道、既存メディアの枠組みを打破し自らの新しい可能性を追求する報道などを、丁寧に見ていきます。キー局はもちろんですが、地上放送局、地方局、独立U局、衛星局、CATV局、ラジオ局、番組制作プロダクション、フリージャーナリスト、そ



の他団体などからの応募がより活発になるよう、賞についての広報を引き続き推進します。

秋頃をメドに「入賞作品の視聴+討論会」を企画しています。また、昔から論議されるところですが、とくに入賞からもれた応募作の批評が「GALAC」に掲載される数行の寸評だけでは、不十分・不親切であると思います。応募申し込み時に短いアンケートを書いてもらうなどして制作者側の意向を吸い上げ、より丁寧な批評をネット上で読むことができるようにするといった対策を検討します



2008年度企画開催事業計画

1. 2008年度は、放送の今日的課題をめぐるシンポジウムの開催をはじめ、テーマを絞ったセミナー・研究会の開催を企画・立案・実施します。また、放送批評懇談会の根幹である「放送批評とは何か」について会員の意見・活動を取りまとめ、対外的に発信する企画を立案します。
2. 本年度の企画事業委員会は、下記のメンバーで構成します。

委員長 藤田真文
副委員長 入江たのし
委員 勝野正博 小林 毅 砂川浩慶 只野 哲
深川 章 堀木卓也 元橋圭哉
3. 2008年度には、IPTVをはじめとする放送と通信の融合、放送法改正後可能になった持株会社制度による民間放送事業者の再編、放送番組に対するさまざまな法的規制の強化など、放送をめぐる急速な変動が予想されます。このような状況下で、社会・視聴者に資する望ましい放送のあり方、厳しい経営を余儀なくされる地域民放局の活路などを探っていくことが必要になっていくように思われます。

また、放送局の不祥事に端を発した放送倫理や番組の質をめぐる議論は、「放送批評」の社会的必要性をますます高め、かつその方法論の深化が求められています。このような認識のもと、2009年2月ないし3月の大型シンポジウムおよび年数回のセミナーの企画、書籍の刊行などを含む「放送批評」に関する情報発信などに取り組んでいきます。
4. 事業実施にあたっての基本的方針は、以下の通りとします。
 - ①会の財政を考え当委員会の事業全体としての黒字を目指す。
 - ②他の委員会の企画との有機的な連動を図る。



放送批評懇談会

第4回通常総会 2008

2008年度マイベストTV賞

プロジェクト事業計画

1. 以下のメンバーで運営します。
プロジェクトリーダー 滝野俊一
メンバー 仮屋和則 桧山珠美
アドバイザー 藤久ミネ
事務局 久野明
2. さらにWeb会員の登録者を増やすべく、関連サイトへの広報活動を強化します。特に「mixi」などのSNSを積極的に利用し、マイベストTV賞を認知してもらうべく草の根的な活動を行います。
また、大学生など若年層の会員を増やすべく、大学関係者へ働きかけます（チラシ配布の協力など）。
3. 第3回「マイベストTV賞グランプリ」を決定し、第46回ギャラクシー賞贈賞式で表彰します。
また、候補作以外にも投票できるようシステムを変更します。また候補作品に漏れていた深夜番組やレギュラー番組などを選考の対象に入れる試みを実施します。

第六号議案

放送批評懇談会

2008年収支予算

2008年度予算案

2008年4月1日～2009年3月31日まで（単位：円）

科目	2007 決算額	2008 予算案	摘要
I. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,450,400	2,600,000	正会員会費
維持会費収入	41,784,000	43,400,000	維持会員会費
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	24,430,400	24,500,000	参加料, 贈賞式会費
企画開催事業収入	4,858,210	3,700,000	シンポジウム参加料
40周年記念収入	23,100		
3. その他の収入			
出版編集事業収入	7,251,581	3,850,000	GALAC販売
広告料収入	7,285,052	7,300,000	GALAC広告
4. 雑収入			
受取利息	66,164		
雑収入	0		
当期収入合計	88,148,907	85,350,000	
II. 支出の部			
1. 事業費			
選奨費	6,965,931	7,000,000	選奨委員会, 審査会運営
式典費	9,731,213	11,000,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	2,123,106	2,200,000	シンポジウム開催費
原稿料	6,288,029	6,500,000	GALAC原稿料
編集費	5,342,782	4,500,000	GALAC編集費
雑誌印刷費	17,481,450	17,000,000	GALAC印刷費
発送費	1,533,136	1,400,000	GALAC発送費
2. 管理費			
給料手当	17,092,494	17,100,000	職員給与
人件費	2,589,430	2,600,000	契約職員, 臨時職員経費
法定福利費	2,529,345	2,600,000	社会保険など
福利厚生費	289,849	300,000	職員, 委員の時間外作業飲食費
旅費交通費	482,880	500,000	職員, 役員交通費
通信費	1,310,538	1,300,000	郵便, 宅配便, 電話, ネット
資料費	1,123,112	1,150,000	新聞, 雑誌, 書籍
会議費	298,289	300,000	理事会, その他会議
水道光熱費	273,382	280,000	水道代, 電気代
事務用品費	139,426	140,000	事務用品, PC周辺機器も含む
消耗品費	504,487	550,000	コピー機使用料, 日用品
備品費	545,638	400,000	テレビ, デッキ, 音響機器, PC
諸印刷費	577,400	700,000	会員名簿, 封筒, 名刺など
広報費	531,880	600,000	ホームページ運営, 日韓中フォーラム経費
支払手数料	122,486	130,000	振込手数料, 更新手数料
賃借料	3,958,499	4,000,000	事務所賃借, コピー機レンタル
保険料	793,090	800,000	退職金補填, 火災保険
交際費	169,740	180,000	冠婚葬祭, 中元, 歳暮
雑費	743,926	750,000	税理士, 社会保険士
諸会費	115,644	120,000	友好団体加入による会費
租税公課	146,200	150,000	法人税, 事業税
退職給付引当金繰入	815,068	1,000,000	毎年100万円の積み立て
予備費	0	100,000	予備の予算
当期支出合計	84,618,450	85,350,000	



NPO／特定非営利活動法人

放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <http://www.houkon.jp>